



KAGAYAKU

かがやき

題字：木版
西野一男さん

47

生涯学習情報紙：生きがい探しのパートナー
感動人生！ここに生きる元気な人間びと

クリスマス
コンサート
のご案内

▼クリスマスコンサート演奏風景



スピリティッド・アウェイ《千と千尋の神隠し》より
Joe Hisaishi (Kazuhiro Murai)

吹奏楽のための第6組曲
A. Road

オリエント急行
P. Sparke

「ラ・ラ・ランド」メドレー
(Masamichi Amano)

クラリネット・キャンディ
トランペット吹きの日
L. Anderson

INAMA!

入間市民吹奏楽団

第33回クリスマスコンサート

2018年12月9日(日) 14:00開場 14:30開演

入間市市民会館
〒352-0294 入間市大宮1-1-1

指揮 大熊 啓史
Eiji Ohsawa

入場無料



▲今年の定期演奏会の前にパチリ

入間市民吹奏楽団は、1980年(昭和55年)に発足。高校生以上の吹奏楽愛好者35人によって構成され「市民に愛される楽団」を目指し活動する市民の吹奏楽団です。単に愛好者が集う趣味の団体にとどまらず、積極的な活動を通して団員相互の親睦を深めるとともに、吹奏楽を通じて市民の融和と協調を図り、格調高い入間市文化の発展に貢献することを目的としています。現在の団長は浜本啓子さんです。

活動は定期演奏会、クリスマスコンサートを中心として、市内のお祭りや催しへの参加、施設等の訪問演奏なども行っています。

昨年の第35回定期演奏会では、吹奏楽の代表曲のひとつである『アルメニア・ダンス』全曲への挑戦や、2016年大阪国際音楽コンクールにて部門最高位を受賞した入間市出身のユーフォニアム奏者・今村耀さんとの共演など、35回目の節目ならではの趣向を凝らした演奏会を開催し、好評を博しました。

そして、浜本さんは「昨年のクリスマスコンサートで、観客動員数が1000人を超えたことはとても感慨深く、同時に今までの楽団の礎を



■入間市民吹奏楽団(中央公民館)
「市民に愛される楽団」からさらなる高みへ

築き支えてくださった諸先輩方をはじめ、多くのみなさま方に感謝の一言しかない。」とおっしゃいます。

また、「入間市の支援をいただきながら、市内外のイベント等にも出演依頼を受けております。いずれの演奏会も好評を頂き、多忙を極めともうれしく思っています。」と語ってくれました。

楽団創立時に「市民に愛される楽団」を目指して40年近くになりますが、これからもさらに演奏技術に磨きをかけるとともに、色々なことに挑戦し続けていくとのこと。『聴き手と奏者が寄り添い、ともに成長し愛される楽団』を目標として掲げています。

そして、定期演奏会やクリスマスコンサートでは常に来場者数1000人を超えて入間市が誇る世界の吹奏楽団として、大きく成長していくことが楽団の大きな夢です。

楽団は仲間を募集中です。まずは一度見学に来てみませんか？ 団費は月額学生1500円、社会人2500円。

練習日や場所などは、楽団ホームページをご覧ください。お問い合わせお待ちしております。



雪嶺吟詠会 山口みなみさん（金子公民館）
ストレス解消は詩吟で！

みどり美しい茶畑に囲まれた金子公民館に入ると、部屋の一角から歌が聞こえてきました。独特の節まわしを付けて歌っています。

覗いてみると、そこでは『雪嶺吟詠会』と称する、詩吟サークルが練習をしていました。

この道10年の山口みなみさんは、市内某所で太極拳を習っていたときに、同じ仲間が詩吟教室のプリントを持ってきたことをきっかけに、その案内に誘われて入会。現在に至っています。

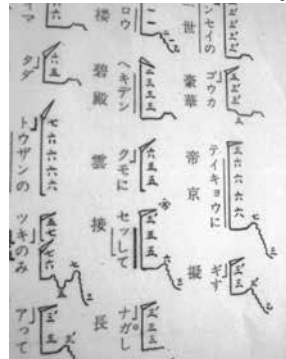


▲伴奏用コンダクター

最初の頃は、なかなか声を出す事が難しかったけれど、先生（斉藤雪嶺さん）の弾く『コンダクター』の伴奏に合わせて練習を繰り返しているうちに声が出るようになりまし。山口さんはこれからもまだまだ練習を重ねて頑張っていくそうです。「人間の喜びや悲しみ、自然の美しさや歴史と教訓が凝縮されている漢詩を腹から大きな声を出して歌うので、身体全体に健康効果が出る、また人と接するので活力も出る。」と

のこと。

詩文をメモをメロデーに乗せて歌うのではなく、素読の後に特有の節調を加えて表現させます。具体的には「三世の（サンセイのおイキョウにい）擬す（ギすう）（節調）」というように語尾の母音を長く引き、そこで節調を行います。この魅力に取りつかれた彼女は、毎週木曜日の午後の練習日を楽しみにしています。また、声を出すことによりストレスも解消出来るので、一石二鳥とのこと。いつまでも元気で若くいられるのもこの詩吟が秘訣のようです。



▲詩文と節調

興味のある方は、金子公民館へ是非足を運んでください！！



▲美声を響かせています♪

C.A.D（クラブ・アフロ・ディーテ）（西武地区体育館）
宝石みたいな汗かいています

よく晴れた木曜日、体育館の外まで聞こえてくる歓声と弾む音。取材の期待も高まります。

平成5年、奥様に誘われて西武体育協会主催の卓球教室に参加した高井富士四さん。長い卓球経験を買われて、指導者としての参加となりました。教室が終了すると、正式に西武体育協会の卓球部員となり、その後平成8年にクラブ・アフロ・ディーテを立ち上げました。以来22年間、その活動は続いています。



▲軽快なラリー

40代から70代のメンバー22人（男7人女15人）で毎週木曜日午前10時から午後1時半まで西武地区体育館にて。午前の基礎練習の後、30分ほど・ぐもぐタイムを楽しみ、午後はクジ引きでペアを決め、ダブルスゲームに励んでいます。疲れたら自己申告で自由に休みます。新年会に始まり、春のお花見、夏の暑気払い、年末卓球大会とイベントもいろいろ。その他に人間市や近隣の大会に参加します。「無理強いはしませんよ。希望者のみの参加です。選手の育成が目的ではありません。」

んから。楽しく健康維持！これがモットーです。」と高井さん。

ご夫妻は自宅から20分ほどかけて自転車です。「行きも帰りもオープンカーです（笑）。卓球で足腰を鍛えているから大丈夫。みんなに会えると思うと、楽しみで。」とおっしゃる高井三重子さんはハツラツとしています。

新人の今井さんは、「丁寧に教えてもらえるので、しっかり基礎を習得して綺麗なフォームでプレイしたい。まだ未熟ですが、みんな快くペアを組んでくれます。」と。

同じく、高井さんの指導の素晴らしさを語るのは岡部さん。「上手な方が多くて勉強になります。屋内スポーツは天候に左右されないからコンスタントに練習できて、夜もぐつぐつ眠れます。」

皆さんの笑顔のかがやきに、やっぱりスポーツはいいものだと感じました。（年会費4000円。他に飯能市民体育館にて土曜の有志練習は、1回1000円。）



▲メンバーの皆さん



■浜松 光恵さん（東金子）
介護する人の力になりたい

浜松さんは、『駒弥』という鰻屋さんを営んでいます。お子さんが小さい時は、お店に立つご自身に代わって、お母さんが家事全般を助けてくれました。そのお母さんが高齢になって、大腿骨を骨折されたが、退院したお母さんのことは一生自分がお世話しようと思いましたが、お店に固く決めていました。お店と介護と孫の世話を兼ねる自信がなかったんです。でも、ある日突然、運転中に信号が全部赤く見え、胸が締め付けられ、仰天しました。」



▲楽しいひと時さくら会

ストレスが原因だと診断された浜松さん。体は正直です。止むを得ず、お母さんを老人介護施設に預かってもらい、無理のない介護へと生活を切り替えました。

その時の感謝から、今度は自分が介護する人たちの役に立ちたいと思い、介護を忘れる時間を味わってもらおうと『さくら会』を始めました。「定休日の店内で、お茶を飲んで、お菓子を食べて、世間話をするだけ

です。特別な事は何も無いけど、それでいいぶんリフレッシュできるんですよ。」

第2木曜日、午後1時～3時。8人ほど集まります。お菓子代は実費ですが、年に一度のバザーで得た利益も、お菓子代に充てています。

「介護は一人で抱え込まないで。時には誰かに頼りましょう。」と浜松さん。

そして、この他にも「みんなで元気になんべえ」からのネーミング、営に関わっています。ウォーキング、そば打ち体験、笑いヨガなど。みんなで一緒に楽しく過ごして、とにかく元気になろう！と頑張っています。メンバー11人（うち男性4人）毎月第2火曜日、東金子公民館にて活動しています。「元気になる方、お待ちします。」



▲なんべえ会の会議中

■囲碁・将棋同好会（東藤沢公民館）
対局で広がる仲間の輪

囲碁棋士の井山裕太氏・将棋棋士の羽生善治氏への国民栄誉賞の授与や将棋棋士の藤井聡太氏の公式戦29連勝など、なにかと話題の多い囲碁・将棋界。囲碁・将棋は数手先を読み、大局観をつかむ知のスポーツとも言えるのではないのでしょうか。市内にも囲碁・将棋を気軽に楽しめるサークルがあります。その一つが、東藤沢公民館で活動する囲碁・将棋同好会です。代表の斉木さんにお話を伺いました。



▲将棋の対局に熱中

囲碁・将棋同好会は、昭和46年に創立しました。会員数は36人で、女性の会員もいます。年齢層は、60代～70代の方が多いですが、夏休みや冬休みには小学生にも将棋を教えています。普段の活動は、対局がメインです。囲碁と将棋の比率は、囲碁が7割、将棋が3割と囲碁のほうが若干多い状況で、会員は市内や近隣の大会での活躍を目標に日々研鑽しています。

会の雰囲気はとても和気あいあいとしていて、アットホームな印象を受けました。会員の皆さんの実力は、初心者の方もいれば、アマチュア四、五段くらいの実力者の方もいます。「ハンデをつければ、誰でも対局できることが囲碁・将棋の魅力です。」「世代関係なく楽しむことができ、子どもたちとも交流ができる。もっともっと普及してほしいです。」と会員の皆さんは話します。

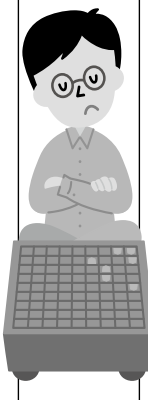
斉木さんは、「活動場所まで来てくれる方は誰でもウェルカムです。家に引きこもらずにどんどん来てほしいです。」と思いを語ってくれました。

是非一度、対局してみませんか。囲碁・将棋を楽しめるだけではなく、仲間の輪を広げる機会となるでしょう。

第1～第4水曜日の午後1時～午後6時に活動しています。会費は、年間で2000円です。



▲囲碁・将棋同好会の皆さん



■ シャンシャン(高倉公民館)
音楽で心も身体もリラックス



私たちの生活に欠かせない音楽には、不思議な力が宿っています。その力を活用して、心身の障害の改善や生活の質の向上などを目指していく【音楽療法】が、様々な場所で実践されています。【音楽療法】とは、どのようなものなのでしょうか。高倉公民館で介護予防サークルとして行われていると知り、訪ねました。ホールには、ピアノと音楽プレイヤー、ホワイトボードが置かれています。その日の主なプログラムは、○季節の話や歌・歌の情報も織り交ぜて語り合い、馴染み深い曲を歌う。

○歌でお出かけ・曲に合わせて、簡単な体操や身体表現をする。

○楽器演奏・曲に合わせて思い思いに奏でる。順番にリーダーとなり、自分なりに打ち鳴らす。

○パ、タ、カ、ラ・言語療法の一つで、発音・発語を促す。

○懐かしの歌謡曲：『あの丘越えて』昭和26年美空ひばり。「音楽は記憶の扉を開くカギ」とも言われている。

○リクエスト・『肩たたき』を歌いながら隣同士で肩たたきをする。起承転結のある内容で、歌う・話す・

奏でる・想起する・身体表現をするなど、バラエティーに富んでいます。音楽を介して自己表現やコミュニケーションをとり、安らぎを共有しながら集える場所でした。

指導者の音楽療法士 望月雅枝さんもちづきまさえは、「音楽は楽しい！声を出すことと歌うことは生きること！」と唱えます。皆さんも「久しぶりに声を出したわ」「人前で歌ったり話したり刺激的！」「脳トレになります」「気取らず自然体の参加が嬉しい」と、心も身体もリラックスした様子で話します。

サークルは、昨年【まちの先生講座】に参加した有志により「このまま終了するのは、もったいない」と発足しました。会員は現在13人で毎月第3火曜日に行っています。(会費1回500円)また、望月さんは、子どもから高齢者まで音楽療法を実践しています。音楽を楽しみながら、効果的に体験することで、新しい扉を開けることができるかもしれません。



▲多彩な音色♪演奏中♪

いるまなびと大作戦Ⅲ # 仲間 # 体験 # 発見

第24回いるま生涯学習フェスティバル

今年も新たな「学び」と「出会い」をご用意して、皆様をお待ちしています。
仲間と生フェスで新たな体験、発見をしませんか？

- ◆日時：平成30年12月2日(日)午前9時45分～午後3時15分
- ◆場所：入間市産業文化センター周辺
- ◆主催：入間市・入間市教育委員会・(公財)入間市振興公社
入間市生涯学習をすすめる市民の会
- ◆主管：第24回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会



● 編集後記 ●

- 麗らかな秋晴れの日、道端の小さな自然に、つい、足をとめてしまいます。(IS)
- 初めて表紙一面に記事と写真等を掲載されること、また、今回から『広報いるま』の中へ閉じこむ形で配布。注目度合いがどのように変化するか楽しみです。(SK)
- 自分の為だと無理でも、人の為なら頑張れる！ってこと、確かにあると思います。(TE)
- 生涯学習には、いろいろな学びの場があります。一つの事を長く続けていく事で、磨きもかかり素晴らしい効果が表れるのではないかと思います。(HT)

◎生涯学習情報紙「かがやく」
広告募集!!

「かがやく」は年2回発行し、広報いるまとともに全戸配布する生涯学習情報誌です。各種宣伝や募集など、広告を掲載していませんか？

●お気軽にお問い合わせを！
担当：市教育委員会社会教育課
TEL 04-2964-1111(内4124)



企画編集：「かがやく」編集委員会
発行：入間市教育委員会社会教育課

お問い合わせ
事務局

入間市教育委員会社会教育課
〒358-8511 入間市豊岡 1-16-1
TEL04-2964-1111 (内線4124) FAX 04-2964-4841

この発行物は
読みかき
として出せます。



R100

編集委員 (五十音順)

飯島静江

島田耕作

瀧澤絵里子

橋本敏子